



紙飛行機通信

香川大学 教職大学院 ニュースレター

6



香川大学教職大学院 3 年目スタート!!

桜を背景に院生とともに入学記念撮影。15名の3期生を迎えて3年目がスタートしました。専任教員の方は、3名が入れ替わり新たな船出となりました。平成30年3月24日に修了式を行い、14名の第2期の現職派遣院生と、授業力開発コースで2年間学んだ香川県新規採用教員としての2名を送り出しました。

短期履修学生制度活用の修了生には、フォローアッププログラムを通して支援していきます。

修了生の皆様!あなたの紙飛行機、子どもたちとともに飛んでいますか。



Voice of graduate students

院生の声

小学校教員免許取得コースに在籍して

高嶋 修平

本専攻における学部卒学生は、1年目に附属校、2年目に公立校で実習をさせて頂くことになっている。

1年目の実習で附属小学校に関わらせてもらい、担当教員の子ども一人ひとりを丁寧に見取った指導に深く感銘を受けた。そこで、2年次に進級する際に、3年間の長期履修による小学校免許取得コースへ登録し、免許取得に必要な学部の授業も受講するようになった。

2年目の実習では、公立小学校に入り、毎週、授業実践の機会を頂いた。上手いかなということも多々あったが、その度に省察を繰り返し、僅かながら自らの実践に自信を持ち始め、教職志向も一層高まった。2年目の最後には小学校免許を取得することができた。

3年目の現在、1年目でお世話になった附属高松小学校で講師をさせて頂きながら、大学院の教育実践研究を継続している。一昨年に関わりのあった子どもたちの成長を肌で感じると共に、授業、学校行事を通して、これまで関わりのなかった子どもとも触れ合うことができ、充実した毎日を送っている。実習や講義で学んだことを活かし、日々精進していきたい。

指導教員から
野崎武司

高嶋さんは他大学の農学部を卒業し、中高の理科の教員免許を持っていました。1年目に出会った附属兼務の実務家教員の影響が大きかったと見え、小学校に強い興味を持ちました。一期一会としか言えません。最初一年関わったクラスのお別れ会での彼の涙が、今後も彼の教育実践を育てていくでしょう。

香川大学大学院（教育学研究科）説明会および入試日程のご案内

★ **大学院説明会**：高度教職実践専攻の学修内容や院生生活について担当教員や現役院生が詳しくご説明いたします。個別相談の時間も設けられており、知りたかったことがすべてわかる絶好の機会です。奮ってご参加ください。

第1回：6月9日（土）、第2回：11月17日（土）、第3回：2月2日（土）

★ **入試日程**：下記の日程で学力検査が実施されます。

<A日程> 2018年9月8日（土）

<B日程> 2019年1月26日（土）

<C日程> 2019年3月2日（土）

入試の詳細は「学生募集要項（修士課程）（専門職学位課程）」をご確認ください。教職大学院 HP でもご案内しております。

News

教員採用試験に合格しても教職大学院に進学する場合は2年間採用を猶予

香川県では、教員採用試験の合格者のうち、教職大学院に進学を希望する場合は、2年間の採用猶予を申し出ることができます。そのため、2年間現職教員と共に学び、理論と実践の力をしっかりと身に付けてから、学校現場に出ることができます。教員採用試験が不合格であった場合でも、教職大学院で学びながら1年目に教員採用試験を受験することができ、合格後も採用猶予を申し出れば、修了まで学び続けることができます。岡山・徳島等、猶予が認められている自治体は他にもありますが、各自治体によって条件が決まっていますので、実施要項をご確認ください。



学校力開発コース
特命教授 津山 勝義

私は地元香川県の出身で、香川大学教育学部を卒業し、その後 38 年間、香川県内で様々な小・中学校や教育委員会事務局の一員として義務教育に携わってきました。

その間、子どもの貧困問題や教職員の働き方などの多様な教育課題に対応しながら仕事をしてきました。人は愛情がなければ育ちませんが、子どもの家庭環境は極めて不平等である上に、子育てが家庭の責務であることが社会の常識になりきっていません。義務教育に携わる教員は、そうした矛盾をはらむ現実社会の中で、様々な役割を担いつつ、子どもたちがよりよく成長できるよう日々格闘し続けています。

教職大学院では学校力開発コースの実務家教員という立場で、これまでの実践とその基盤となる教育理論とを関係付けながら、常に児童生徒に愛情をもって接し、その上で、組織や社会に働きかけ学校現場からの教育改革を実行できる、今後の義務教育の中核を担える人材の育成に努めたいと思っています。今後、どうぞよろしくお願いいたします。



学校力開発コース
准教授 金綱 知征

この度、研究者教員として学校力開発コースを担当させていただくことになりました。専門は発達社会心理学で、特に学校現場におけるいじめを中心とした生徒指導上の諸問題に関する子どもの実態解明と、対応・対策への実践支援を中心テーマとしています。最近では、ネット上での自己呈示の在り方と問題行動との関連に興味をもっています。

私は千葉県の高校を卒業した後に単身英国に渡り、大学、大学院と、学生時代のほとんどを英国で過ごしました。10 年間の留學生活では、多様な人種・民族・文化圏の人々と交流する中で、自身の常識が、いかに限られた狭い世界の中でのものに過ぎないのかということを痛感させられました。と同時に、慣れ親しんだ場所から一歩外に出て、その場所を俯瞰的に眺めてみると、それまで見えなかった沢山のことが見えてくることを学びました。

教職大学院は、そうした俯瞰的な視点を身につけ、確かな理論と実践によって学校課題の解決に向けて挑戦する場だと思います。そんな挑戦する院生さんの学びの一助となれますよう努力してまいります。



授業力開発コース
准教授 大熊 裕樹

これまで主に小学校現場において、教諭、教頭として教育実践に携わってまいりました。この度、香川県教育委員会との人事交流により着任し、授業力開発コースを担当することになりました。

平成 14・15 年度、内地留学で入学した本学大学院にて、実践と理論とをつなげた研究内容を「生きる力を育てる教育実践」としてまとめました。その過程を通して、教師としての自分自身や、その実践を客観的に捉え直すことで、新たな取組への意欲が大きく高まったことを覚えています。

新学習指導要領において、「主体的・対話的で深い学び」が謳われています。子どもたちの学校生活の中心は、やはり授業です。「自分の言葉で語り、伝え合う授業」、「響き合い、感じ合い、高め合う授業」、「学びの楽しさを実感する授業」を日々積み重ねることで、子どもや学級は大きく伸びると信じます。その実現に向け、「理論と実践の往還」をもとに、新しい教育の創造や、それを担う次世代の人材育成に努めてまいります。

「四国道徳ラボ研修会」について

昨年度に引き続き、独立行政法人教職員支援機構の「教員の資質向上のための研修プログラム開発事業」に採択され、香川県教育委員会・香川県教育センターとの連携のもと、「質の高い道徳科の授業づくりを支援する研修プログラムの開発～『四国道徳ラボ』を核として～」を推進することとなりました。平成 28 年度から取り組んできました「かがわ道徳ラボ」には、四国各県より多くの皆様にご参加いただきました。そこで、今年度は「四国道徳ラボ」として、より発展・充実できるように取り組んで参りたいと考えます。

今後の予定

四国道徳ラボ研修会 I

6 月 23 日（土）13 時 15 分～16 時 45 分
香川大学幸町北キャンパス（教育学部）
教授法演習室

四国道徳ラボ研修会 II in 高知

高知大学教職大学院附属学校教育研究センター
7 月 14 日（土）13 時 15 分～17 時